

新着情報

- 2015年度入試より適性検査1の検査時間が50分に延長され、それに伴って配点が110点に変更されている。
- 「ことば科」の授業では、国語科・英語科と他教科の教員がチームティーチングで、ディベート等の学習を通して論理的思考力・表現力等の育成を図っている。

入試結果

	募集定員	受験者数	合格者数	倍率	入学者
2018年度	160名	820名	160名	5.13倍	159名
2019年度	160名	799名	160名	4.99倍	159名
2020年度	160名	824名	160名	5.15倍	159名
2021年度	160名	650名	160名	4.06倍	160名

2021年度入試平均点	
適性1	非公表
適性2	非公表
合計	非公表

2022年度募集要項

◆【募集定員】160名

- <試験日> 1月29日(土)
- <合格発表> 2月4日(金)
- <試験科目> 適性検査1・適性検査2(帰国生徒等のみ面接あり)

- <時間> 適性検査1 50分・適性検査2 45分
- <配点> 適性検査1 110点・適性検査2 100点

学校情報

●教育内容について

●特色ある教育活動について

- ◆グローバル化に対応した教育
 - ・英語教育の重点化
「ことば科」のロジカル・コミュニケーション領域の指導によるスキット、レシテーション、ディベート等を行い英語力の伸長を図る。
 - ・伝統文化の継承
自国の伝統や文化を知るために、音楽科での箏や和太鼓、三味線を取り入れたり、文化教養行事に能・落語等を鑑賞したりする機会を設けている。
 - ・ことばの教育の推進
中・高の6年間で「論理的な思考力・表現力」を高めるため、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション等に取り組む。
 - ・海外語学研修
カナダへの語学研修、文化祭での留学生との交流活動の機会を設ける。
- ◆学校行事等について
学校行事や生徒会活動、部活動については高校と合同で実施する。年齢層の異なる集団で活動することにより社会性や自主性も伸ばしていく。
- ◆寄宿舎について
寄宿舎には学習サポーター・生活サポーターと呼ばれる先生から、夜間の学習時間にマンツーマンでの指導を受けられる等個別のサポート体制がある。また、年に数回の短期入寮が行われ、集団生活の中で社会のルールを学ぶ。

●独自教科について

- 「ことば科」を特設科目として設置しており、ディベートを行うなど、生徒のコミュニケーション能力を高め、幅広い視点から生徒の力を伸ばす指導を行っている。

●帰国生徒等について

- 適性検査1・適性検査2とも同じ問題を出題。帰国子女に限り、面接も行う。

●出題傾向について

- 適性検査1は算数・理科中心、適性検査2は国語・社会中心の内容になっており、小学校での学習状況・習得した知識及び技能が強く反映される問題である。また、解答に至る説明を文章にさせる場合が多いため、高い文章力・読解力が必要となる。

クラブ活動

- 体育系 陸上競技/テニス/バスケットボール/サッカー/バレーボール/卓球/軟式野球/バドミントン/弓道/剣道
- 文化系 吹奏楽/放送/演劇/茶華道/科学研究/英会話/文芸/箏曲

進路実績

【公立高校編】広島高校に掲載。